

町長・教育長の平成21年度当初予算概要説明に対し 会派代表者3名が重点施策をたずぬ。

(予算概要は、「広報とうべつ4月号」をご覧ください。)

泉亭町長の三選への 出馬について



小野 広実 議員
(緑風会)

代表質問

町村会は、どのように
とらえているのか、お聞
かせ願いたい。

将来、石狩支庁は北海
道の中心地域として経
済、産業を含めて、あら
ゆる立場で他の地域を
リードする地域である。

町長の見識を伺いたい。

町長 北海道市長会、町
村会、市議会議員会、町
村議会議員会の四団体は
支庁制度改革に関する要
望書を3月6日、知事と
道議会に提出した。今の
支庁制度の改革では、石
狩管内、当別にとって好
ましくない点について、
引き続き道議会並びに知
事に提言したい。

農工商連携による 産業の活性化について

問 地元でとれた新鮮な
農産物を地元飲食店が食
材メニューに活用するな
ど、商店街の新戦略とな
り、活性化に結びつくも
のと考えるが、今後の商
店街等の見解を伺いた
い。

町長 町は平成14年度か
らチャレンジショップ事
業の展開、多目的広場ま
ちの駅アウルなどを設置

し、今までなかった事業
やイベントなどを開催し
てきた。商店街の発展は
大切であり、商工会と連
携をとりながら商店街の
将来像を検討していく
が、業者自身も変化の
激しい時代に合った経営
を日々、考えていただき
たいと思う。

ポータルサイト 計画について

問 当別の地域情報を集
めたポータルサイトを計
画し、町の情報発信や情
報を共有することは、町

民の利便性の向上に大き
くつながり、IT社会の
中において、とても必要
なことだと考える。町長
の考えをお聞かせ願いた
い。

町長 ITの進展は私た
ちの生活を便利なものに
変えていく。地域情報を
発信するポータルサイト
からは、町民の皆さんが
生活に有益な情報を取得
でき、皆さんの活動PR
や町の特産品・イベント
情報も発信できる。コミュ
ニティ向上の道具として
積極的に進めていく。

北海道が行う 支庁制度改革について

問 昨年の6月に道議会
で北海道総合振興局設置
条例を議決したが、例え
ば、石狩地域の振興策を
決定するセクションは空
知の総合振興局で持つこ
ととなっている。

北海道の40%以上の人
口を有し、大都市札幌市
を中心に発展を考える石
狩地域のことを空知地域
で決定することができ
るのか、私は大変疑問に
思っている。



4月3日にリニューアルした町のホームページ

第5次総合計画重点プラン の進め方について



市川 正 議員
(清流)

問 今年度は、当別町第5次総合計画の初年度であるが、重点プランをどの段階まで進めるのか。

また、分野別の個別計画をどのように策定し、周知を図るのか伺う。

当別町農産物の地産地消の拡大を図る取り組みと地域ブランドのPRと地場産品の販売促進を目的とした新しい拠点づくりを推進することなどが、具体的にどのような推進・支援を考えているのか。

続いて新しい地域づくりと行政のパイプ役として地域担当職員を配置する制度であるが、説明会をしていくにもかわらぬ住民には未だ理解されていないと思われ、住民と充分相互理解の上で進めることが大切であり、その考えを伺う。

町長 総合計画は学校のカリキュラムのように、1時間目はあれ、2時間目はこれだけやるというものではなく、あれもこれも全部を連動して総合的に進めていかなければならない。

地域ブランドは、町内で農家と企業が既に二件の農業法人を立ち上げ、

進めている。

ブランド開発は、地元での農・商・工業の連携が重要で、支援するためにはお金を出すのではなく、ノウハウを持つている人と意欲のある地元の農家の結合に汗を流すことにほかならないと考えている。

地域担当職員制度は、行政推進員の会議で何回も説明しており、十二分なご理解をいただいているので行政推進員の皆さんから浸透していくと思う。決して上意下達のものではないとご理解をいただきたい。

教育行政について

問 先に行われた全国学力・学習状況調査（以下、学力調査）で北海道は、最低ランクの結果となった。本町の学校の現状はどうなっているのか。

今後、新学習指導要領に基づいて移行していくが、特に5、6年生の必修の計画はなされているが、教育長はどの様に取組んでいくのか伺う。

最後に、美しいまちづくりを進める町には優い心を持った子供を育てたいと思う。特に今年

は、文化、スポーツなど全国的に活躍された子供達にエールを送りたいと思う。

教育長は今後、どのような形の中で取り組もうとしているのか伺う。

教育長 各学校では学力調査の結果を分析し、改善プランを策定して取り組んでいる。学校での取り組みはもとより、家庭との連携による取り組みも重視していかなければならぬと考えている。

また、新しい学習指導要領の移行のための準備も進めており、教員の校

内研修を実施するなど、校内指導体制を整え、円滑な導入に努めてまいりたい。

美しいまちづくりを進める上で、子どもたちが健全に成長していくためにも人や自然に対する思いやりやいたわりの気持ちを育てていくことは、家庭教育や学校教育で大変重要なことである。

ボランティア活動、道徳の授業など、様々な工夫・改善を図りながら充実させたい。



子どもたちが健全に育つ取り組みを期待する

議会を傍聴してみませんか

当別町議会では定例会が定期的に3月、6月、9月、12月の年4回、また、必要に応じて臨時会が開催されています。議会日程・とうべつ議会だより等は町のホームページでも公開しています。<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>



事務事業の見直しについて



桐井 信征 議員
(公明党)

問 環境省がカーボンオフセット公募事業に当別を選んだとのことである。京都議定書で日本は、1990年を基準とした排出量を2008年から2012年まで、平均でマイナス6%達成しなければならず、その有効な手段がカーボンオフセット事業である。本町のコミュニティバス（以下、コミバス）事業は、天ぷら廃油を精製したバイオディーゼル燃料を使用しているの、二酸化炭素（以下、CO₂）削減に効果があると環境省が認定したものと理解している。町は、この先進的なモデル事業をどのような考えで応募したのか。私はコミバスのPRと住民の環境意識向上に大変有意義と考える。実際に排出権取引に移行した時、その利活用や見直しをどのように考えているか。

環境問題という、スウェーデンが環境立国というイメージがある。来年初に、カール16世グスタフ国王が来日し、北海道を訪問され、当別町にも足を延ばしたいとの意向であると聞いている。その前段として、国王が



平成2年に来町した
グスタフ国王

総裁を務めるスウェーデン王立科学アカデミーの会員が下見を兼ねて、本年の4月と8月に地球環境や温暖化、食糧問題について、当別、小樽で国際的なフォーラムを開催すると聞いている。本町においては、4月18日に北方圏の気候変動と食糧生産というテーマで公開講演会が開かれることになっており、環境問題と農業のあり方、当別町が果たす先進的な役割は明らかかなものと期待している。本町でのフォーラムで、町はどのように対応するのか伺う。



天ぷら廃油を利用した環境に優しいコミバス

ことで応募したのではない。高齢化社会が益々進む中、公共交通としてのコミバスを永続的に運行するためには、利用者である住民自身で守り、育てていかなければならないということを経験して理解し、意識を向上させることが不可欠だと思っている。身近な素材である使用済みてんぷら油を再利用して住民の足の確保に活用している。小さな町の取り組みでも、国や社会が認める先進的な取り組みをしていると住民に意識してもらうために応募した。

現時点で排出権の取引が始まっているのではないので、根拠に基づいた数字を申し上げることはできないが、本町のコミバスのCO₂削減量は年間120トンになる。飯に1トンあたり3千円から5千円の取引額だとすると、三十六万円から六十万円の収入になると想定している。

当別は先般、スウェーデン王国レクサンドとの交流で総務大臣表彰を受賞し、スウェーデン大使館とスウェーデン・ミーツ北海道というイベントを行うなど、スウェーデンと日本の交流の窓口になっていると自負している。当別の魅力を存分にアピールし、環境に関する意識の高い町であることがスウェーデン本国に伝わるように、フォーラムの成功を支えたいと考えている。

	4月23日	4月21日	4月15日	4月	3月27日	3月23日	3月13日~18日	3月10日~18日	3月4日	3月3日	3月2日	2月10日	議会のひびき (平成21年2月~平成21年4月)
	総務文教厚生常任委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会		中川郡美深町議会来庁	宮城県大崎市議会来庁	平成21年度各会計予算審査特別委員会	平成21年第1回定例会	議会運営委員会	委員会	産業建設常任委員会	議会運営委員会	